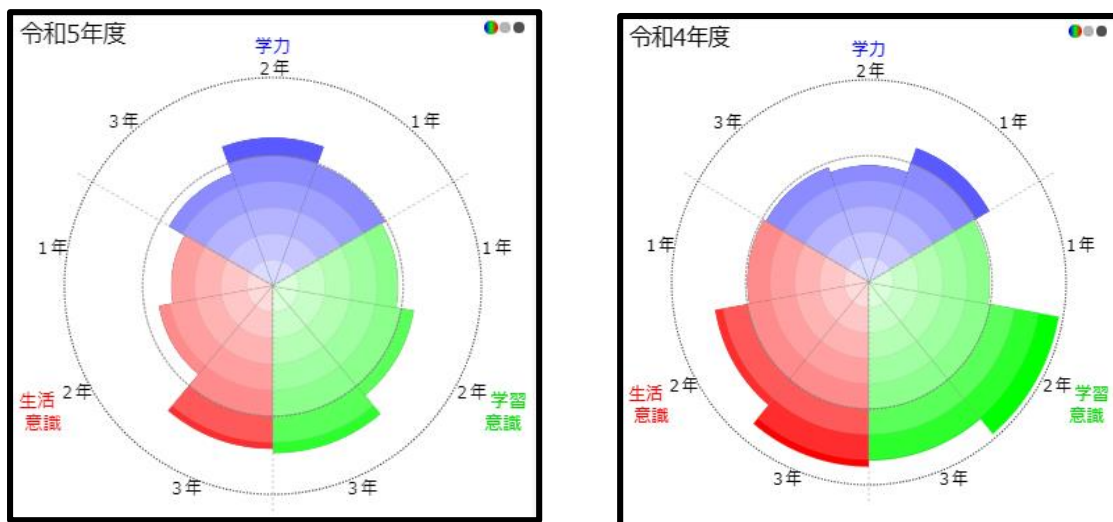


市学力・学習状況調査について(令和5年4月27日 実施)

【前年度との比較】



考察：

(1) 学力の概要と要因の分析

第1学年の学力は、概ね市平均と同じ程度である。一方、第3学年の学力は、市の平均を下回り、また第2学年は市の平均を大きく上回っている。生活意識「1日にどのくらい学習をしますか(塾や家庭教師も含む)」の質問では、2年では2時間以上と回答する生徒が40%を超えており市の平均を上回っている。一方3年では、2時間未満と回答する生徒が5割以上おり、日頃の学習習慣と学力の関係性が伺える。また「学校での授業に進んで取り組んでいますか」の質問では「取り組んでいる」と回答する生徒が5割を超えており、意欲的に学習に取り組んでいる様子が分かる。3年では、学習意識が下がっている様子も見取れ、確かな学力の定着とともに、「主体的に学習に取り組む態度」の育成が課題となっていることが読み取れる。

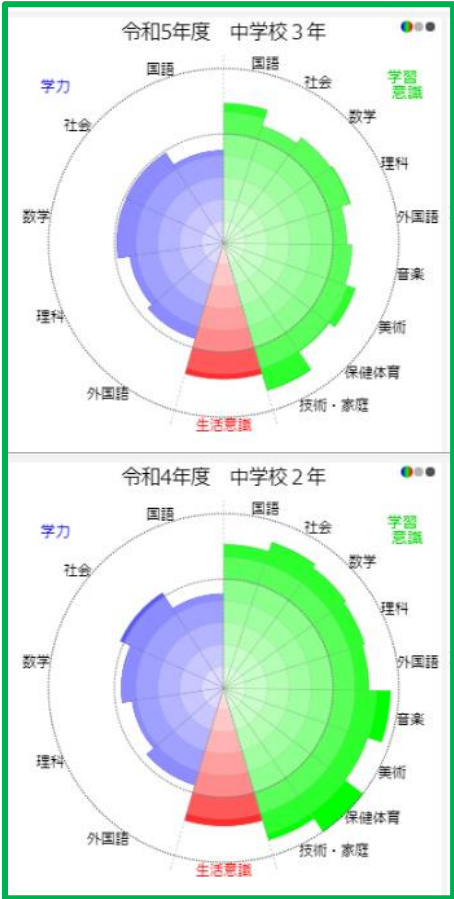
(2) 教科学習の状況(正答率より)

- 国語科：3年では、全体的に市平均を下回っている。2年では、全体的に市平均を上回っている。1年では、「情報活用」を問う設問の正答率で、市平均を大きく下回っている
- 社会科：3年では、概ね市の平均ぐらいである。2年では、全体的に市平均を上回っている。1年では、全体的に市平均を下回っている。
- 数学科：3年は「統計」「確率」では市平均を上回っているが、「関数」「式」「平面図形」などでは市平均を下回っている。2年は全体的に市平均を大きく上回っている。1年は全体的に市の平均を下回っている。
- 理科：3年では「生命」では市平均を上回ったが、「粒子」「エネルギー」「地球」では市平均を大きく下回った。2年は概ね市平均を上回ったが、「エネルギー」では市平均を大きく上回った。
- 外国語科：3年では、「聞くこと」は市の平均ぐらいであるが、「読むこと」「書くこと」においては市平均を大きく下回っていた。2年では「読むこと」「聞くこと」では市平均を大きく上回ったが、「書くこと」において市平均を下回っている。1年は概ね市平均であった。

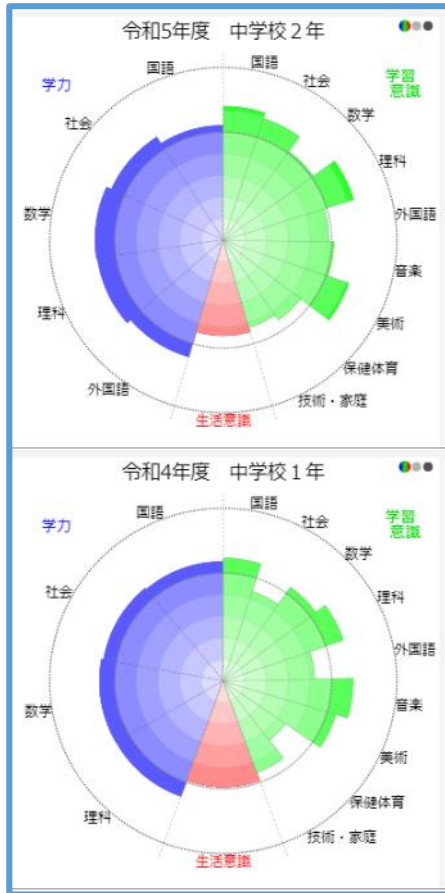
(3) 経年変化の状況と要因の分析(学習・生活意識調査も含めて分析)

経年変化の状況から、2年を例にすると、高い学習意識と学力の向上との関係性が伺える。上述のように、2年では生徒質問紙「1日にどのくらい学習をしますか(塾や家庭教師も含む)」において「2時間以上」と回答する生徒が40%を占めるのに対し、1年では「2時間未満」の生徒が75%を占めている。これからも、生徒に学習習慣を身につけさせながら、確かな学力の定着を図るとともに、学習意識の向上を図るために、「主体的に学習に取り組む態度」の育成や「個別最適な学び」の実現にむけた授業改善を行うことが、学力の向上につながると考えられる。そのためにICTの利活用や学校外のリソースの利活用することで教育活動の充実が一層求められている。

3年生



2年生



1年生

